

送信者: "加藤 功" <ecolins@mvd.biglobe.ne.jp>  
宛先: "M☆水辺の会会員の皆様" <mizubanokai@yahoo.co.jp>  
送信日時: 2011年3月17日 9:52  
添付: ATT00010.htm; 木島平村での積み込み1.jpg; 宮中ダムで放流.jpg; 宮中ダムで放流2.jpg; 宮中ダムで放流3.jpg; 3.11の宮中ダム.jpg; 3.16の宮中ダム.jpg  
件名: 10万尾の鮭稚魚放流。新潟水辺の会 加藤  
新潟水辺の会会員及び関係者の皆様

新潟水辺の会で準備していましたが、3月19日から21日の長野県上田市で「千曲川環境シンポジウム」及び「鮭稚魚の市民環境放流」を、この度の地震災害により中止しました。

また地震災害による電力不足で、信濃川・千曲川の河川で水力電力を幾  
るため、河川への維持流量が長野県北部地震のあった西大滝ダムで15日より  
秒に減らすことになりました。  
・西大滝ダム下流の維持流量 約20トン/秒 ⇒ 0.28トン/秒  
・宮中ダム下流の維持流量 約60トン/秒 ⇒ 7トン/秒

新潟水辺の会では昨年より、長野県の水(木島平村の湧き水)で飼育した鮭の稚魚の放流を実施してきましたが、このまま稚魚を放流すれば大半の稚魚が発電所タービンに巻き込まれてしまう事態になるため、急遽木島平村で飼育中の鮭稚魚を放流することに  
なり、昨日中魚沼漁業協同組合の車をお借りして、10万尾を下流の十日町市宮中ダム魚道へJR東の社員の皆様の協力を得て放流してきました。

雪の降る木島平村で、平均で1.2グラムに成長した鮭の稚魚を積み込む大熊代表と山岸世話人  
宮中ダム魚道真上の管理橋より、稚魚放流に協力していただいたJR東日本の皆様  
河川の水温が低かったため、輸送のタンクに雪を入れて温度差を2度までとして魚道に放流しました。  
鮭の稚魚は、流れに逆らって元気に上流に上るものも多かったです。

約50~60トン放流されていた頃の宮中ダム)

維持流量7トンの宮中ダム(3月16日午前9時頃)下流、もとの石河原となってしまった。

今年の鮭稚魚の市民環境放流は三井物産環境基金をはじめ、信濃川ファンクラブ基金、

新潟市、長岡市、十日町市さんからの結資金で、合計30万尾を計画していました。  
16日に10万尾の放流を行いました。残りの20万尾および、JR東日本の10万尾の稚魚放流は、3月21日(月)午前10時より3回に分けて、宮中ダム魚道より実施いたします。

バケツでの放流は出来ませんが、見学したい方は新潟水辺の会 加藤までご連絡下さい。

電話026-230-3910

\*\*\*\*\*  
新潟水辺の会 事務局長 加藤 功  
ecolins@mvd.biglobe.ne.jp  
\*\*\*\*\*